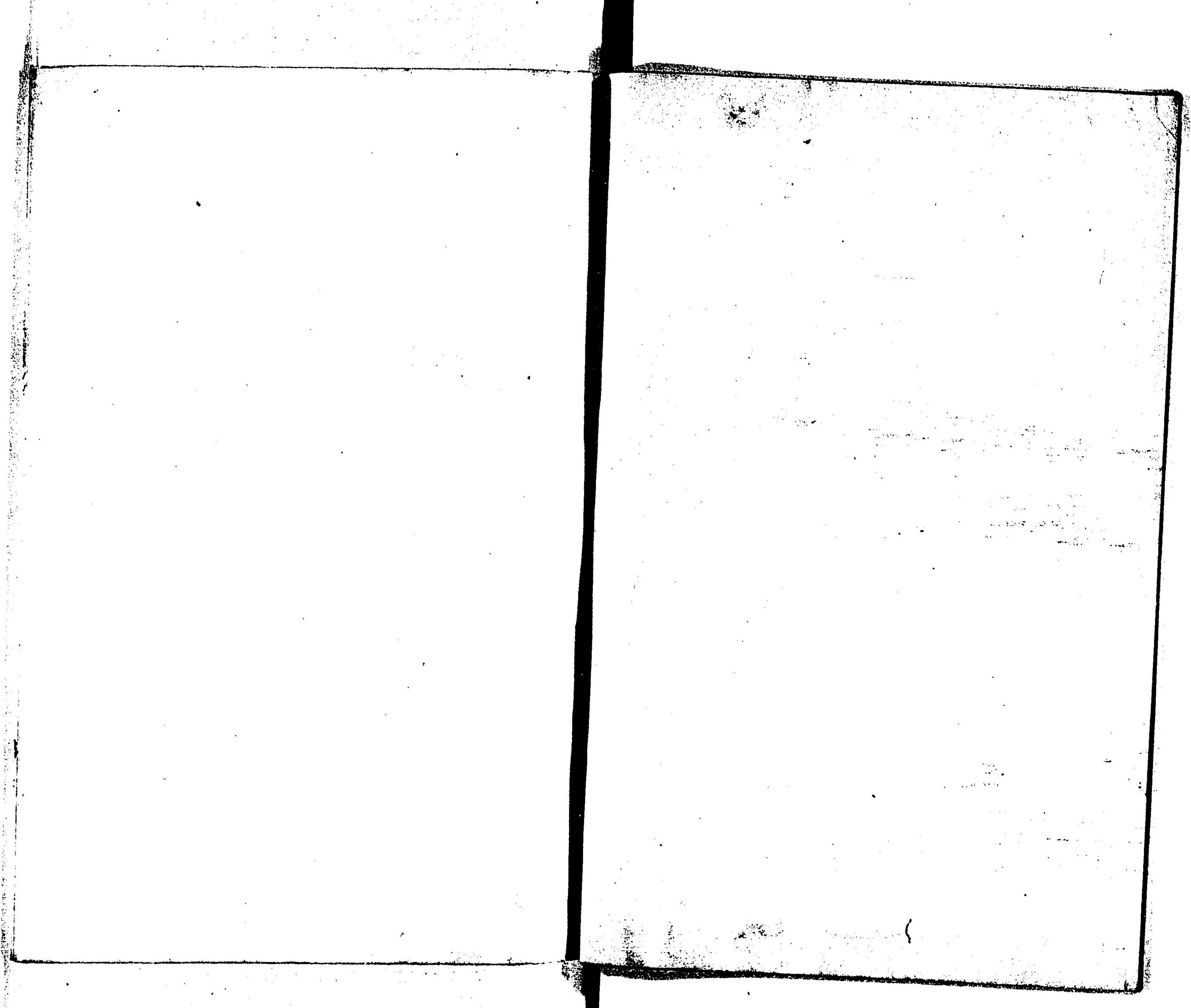


特42
11
444

吉野夫人
大仏徳養
忠信
鳥帽子折
大瓶掬々
七

255
62



喜野天人

おはようございます
おはようございます
おはようございます

東京
都
野天
人

明治
40 3 14
内交

Handwritten text in a cursive script, possibly a personal letter or a short story. The text is written on a page with a vertical line down the center. The characters are dense and connected, typical of cursive handwriting. There are some small annotations or corrections above certain words.

Handwritten text in a cursive script, continuing the narrative or letter from the previous page. The text is written on a page with a vertical line down the center. The characters are dense and connected, typical of cursive handwriting. There are some small annotations or corrections above certain words.

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

吉野屋
 花の散る春の風
 吹く
 花の散る春の風
 吹く
 花の散る春の風
 吹く
 花の散る春の風
 吹く
 花の散る春の風
 吹く
 花の散る春の風
 吹く

吉野屋
 花の散る春の風
 吹く
 花の散る春の風
 吹く
 花の散る春の風
 吹く
 花の散る春の風
 吹く
 花の散る春の風
 吹く
 花の散る春の風
 吹く

そなた様の家路をたづねて

たづねてお尋ねしたい

と申すは、お尋ねしたい

と申すは、お尋ねしたい

と申すは、お尋ねしたい

と申すは、お尋ねしたい

と申すは、お尋ねしたい

と申すは、お尋ねしたい

と申すは、お尋ねしたい

と申すは、お尋ねしたい

と申すは、お尋ねしたい

と申すは、お尋ねしたい

と申すは、お尋ねしたい

Handwritten Japanese text in a cursive style, consisting of approximately six lines of characters.

Handwritten Japanese text in a cursive style, consisting of approximately six lines of characters, separated from the left page by a vertical line.

大佛借養

大佛借養
 大佛借養
 大佛借養
 大佛借養
 大佛借養

大佛借養
 大佛借養
 大佛借養
 大佛借養
 大佛借養

大佛借養
 大佛借養
 大佛借養
 大佛借養
 大佛借養

大佛借養
 大佛借養
 大佛借養
 大佛借養
 大佛借養

大佛借養

高
原
の
下
に
建
た
る
一
の
山
寺
に
龍
窟
と
い
ふ
所
有
り
と
傳
へ
ら
れ
し
事
也
其
窟
の
深
さ
約
十
間
有
り
と
い
ふ
事
也
其
窟
の
中
に
石
の
像
有
り
と
い
ふ
事
也
其
窟
の
外
に
石
の
像
有
り
と
い
ふ
事
也
其
窟
の
内
に
石
の
像
有
り
と
い
ふ
事
也

其
窟
の
外
に
石
の
像
有
り
と
い
ふ
事
也
其
窟
の
内
に
石
の
像
有
り
と
い
ふ
事
也
其
窟
の
外
に
石
の
像
有
り
と
い
ふ
事
也
其
窟
の
内
に
石
の
像
有
り
と
い
ふ
事
也
其
窟
の
外
に
石
の
像
有
り
と
い
ふ
事
也
其
窟
の
内
に
石
の
像
有
り
と
い
ふ
事
也
其
窟
の
外
に
石
の
像
有
り
と
い
ふ
事
也
其
窟
の
内
に
石
の
像
有
り
と
い
ふ
事
也

457
 へん 5047 じ 5048 じ 5049 じ 5050 じ 5051 じ 5052 じ
 5053 じ 5054 じ 5055 じ 5056 じ 5057 じ 5058 じ 5059 じ
 5060 じ 5061 じ 5062 じ 5063 じ 5064 じ 5065 じ 5066 じ
 5067 じ 5068 じ 5069 じ 5070 じ 5071 じ 5072 じ 5073 じ
 5074 じ 5075 じ 5076 じ 5077 じ 5078 じ 5079 じ 5080 じ
 5081 じ 5082 じ 5083 じ 5084 じ 5085 じ 5086 じ 5087 じ
 5088 じ 5089 じ 5090 じ 5091 じ 5092 じ 5093 じ 5094 じ
 5095 じ 5096 じ 5097 じ 5098 じ 5099 じ 5100 じ

2
 5101 じ 5102 じ 5103 じ 5104 じ 5105 じ 5106 じ 5107 じ
 5108 じ 5109 じ 5110 じ 5111 じ 5112 じ 5113 じ 5114 じ
 5115 じ 5116 じ 5117 じ 5118 じ 5119 じ 5120 じ 5121 じ
 5122 じ 5123 じ 5124 じ 5125 じ 5126 じ 5127 じ 5128 じ
 5129 じ 5130 じ 5131 じ 5132 じ 5133 じ 5134 じ 5135 じ
 5136 じ 5137 じ 5138 じ 5139 じ 5140 じ 5141 じ 5142 じ
 5143 じ 5144 じ 5145 じ 5146 じ 5147 じ 5148 じ 5149 じ
 5150 じ 5151 じ 5152 じ 5153 じ 5154 じ 5155 じ 5156 じ
 5157 じ 5158 じ 5159 じ 5160 じ 5161 じ 5162 じ 5163 じ
 5164 じ 5165 じ 5166 じ 5167 じ 5168 じ 5169 じ 5170 じ
 5171 じ 5172 じ 5173 じ 5174 じ 5175 じ 5176 じ 5177 じ
 5178 じ 5179 じ 5180 じ 5181 じ 5182 じ 5183 じ 5184 じ
 5185 じ 5186 じ 5187 じ 5188 じ 5189 じ 5190 じ 5191 じ
 5192 じ 5193 じ 5194 じ 5195 じ 5196 じ 5197 じ 5198 じ
 5199 じ 5200 じ

御覽
御覽
御覽

御覽
御覽
御覽

御覽
御覽
御覽

御覽
御覽
御覽

御覽
御覽
御覽

御覽
御覽
御覽

御覽
御覽
御覽

御覽
御覽
御覽

御覽
御覽
御覽

御覽
御覽
御覽

御覽
御覽
御覽

御覽
御覽
御覽

序...
 一...
 二...
 三...
 四...
 五...
 六...
 七...
 八...
 九...
 十...

一...
 二...
 三...
 四...
 五...
 六...
 七...
 八...
 九...
 十...

Handwritten text in a cursive script, possibly a form of shorthand or a specific dialect. The text is arranged in several lines, with some characters appearing to be stylized or abbreviated. There are some small annotations or marks above certain characters, such as 'ア' and 'イ'.

Handwritten text in a cursive script, similar to the first page. The text is arranged in several lines, with some characters appearing to be stylized or abbreviated. There are some small annotations or marks above certain characters, such as 'ア' and 'イ'.

草花の香気は、
風に散る如く、
庭の隅々まで、
春の息を告げる。
花の命は、
一瞬の輝きを、
静かに、
大地に還す。

白き花は、
雪の如く、
静かに咲き、
静かに散る。
花の心は、
静かに、
大地に還る。
花の命は、
一瞬の輝きを、
静かに、
大地に還す。

徳久しき徳に育ちし
徳に育ちし徳に育ちし
徳に育ちし徳に育ちし
徳に育ちし徳に育ちし
徳に育ちし徳に育ちし

徳久しき徳に育ちし
徳に育ちし徳に育ちし
徳に育ちし徳に育ちし
徳に育ちし徳に育ちし
徳に育ちし徳に育ちし

مَنْ يَتَّقِ اللَّهَ يَجْعَلْ لَهُ مَخْرَجًا
وَيَرْزُقْهُ مِنْ حَيْثُ لَا يَحْتَسِبُ
وَمَا يُلْقِهَا اللَّهُ فِي سَعْيِ
بَشَرٍ لَكِن مِمَّا يَشَاءُ
وَيُخَوِّضُ اللَّهُ الَّذِينَ يَشَاءُ
لِمَنْ يَشَاءُ مِنْ غَلَّتِ
أَعْيُنُهُمْ فِي غَمٍّ مُجْتَمِعٍ
وَلَقَدْ خَلَقْنَا الْإِنْسَانَ
فِي أَحْسَنِ تَقْوِيمٍ
ثُمَّ رَدَدْنَاهُ أَسْفَلَ
سَوْفًا
إِلَّا الَّذِينَ آمَنُوا وَعَمِلُوا
الصَّالِحَاتِ
وَأُولَئِكَ نَجْعَلْ لَهُمْ
مَخْرَجًا
وَنَرْزُقُهُمْ مِنْ حَيْثُ لَا
يَحْتَسِبُونَ
وَلَقَدْ خَلَقْنَا الْإِنْسَانَ
فِي أَحْسَنِ تَقْوِيمٍ
ثُمَّ رَدَدْنَاهُ أَسْفَلَ
سَوْفًا
إِلَّا الَّذِينَ آمَنُوا وَعَمِلُوا
الصَّالِحَاتِ
وَأُولَئِكَ نَجْعَلْ لَهُمْ
مَخْرَجًا
وَنَرْزُقُهُمْ مِنْ حَيْثُ لَا
يَحْتَسِبُونَ

مَنْ يَتَّقِ اللَّهَ يَجْعَلْ لَهُ مَخْرَجًا
وَيَرْزُقْهُ مِنْ حَيْثُ لَا يَحْتَسِبُ
وَمَا يُلْقِهَا اللَّهُ فِي سَعْيِ
بَشَرٍ لَكِن مِمَّا يَشَاءُ
وَيُخَوِّضُ اللَّهُ الَّذِينَ يَشَاءُ
لِمَنْ يَشَاءُ مِنْ غَلَّتِ
أَعْيُنُهُمْ فِي غَمٍّ مُجْتَمِعٍ
وَلَقَدْ خَلَقْنَا الْإِنْسَانَ
فِي أَحْسَنِ تَقْوِيمٍ
ثُمَّ رَدَدْنَاهُ أَسْفَلَ
سَوْفًا
إِلَّا الَّذِينَ آمَنُوا وَعَمِلُوا
الصَّالِحَاتِ
وَأُولَئِكَ نَجْعَلْ لَهُمْ
مَخْرَجًا
وَنَرْزُقُهُمْ مِنْ حَيْثُ لَا
يَحْتَسِبُونَ
وَلَقَدْ خَلَقْنَا الْإِنْسَانَ
فِي أَحْسَنِ تَقْوِيمٍ
ثُمَّ رَدَدْنَاهُ أَسْفَلَ
سَوْفًا
إِلَّا الَّذِينَ آمَنُوا وَعَمِلُوا
الصَّالِحَاتِ
وَأُولَئِكَ نَجْعَلْ لَهُمْ
مَخْرَجًا
وَنَرْزُقُهُمْ مِنْ حَيْثُ لَا
يَحْتَسِبُونَ

ニテモ
一 其ノ如ク一ニシテハ、
ニ 其ノ如ク一ニシテハ、
三 其ノ如ク一ニシテハ、
四 其ノ如ク一ニシテハ、
五 其ノ如ク一ニシテハ、
六 其ノ如ク一ニシテハ、
七 其ノ如ク一ニシテハ、
八 其ノ如ク一ニシテハ、
九 其ノ如ク一ニシテハ、
十 其ノ如ク一ニシテハ、
十一 其ノ如ク一ニシテハ、
十二 其ノ如ク一ニシテハ、
十三 其ノ如ク一ニシテハ、
十四 其ノ如ク一ニシテハ、
十五 其ノ如ク一ニシテハ、
十六 其ノ如ク一ニシテハ、
十七 其ノ如ク一ニシテハ、
十八 其ノ如ク一ニシテハ、
十九 其ノ如ク一ニシテハ、
二十 其ノ如ク一ニシテハ、

ニテモ
一 其ノ如ク一ニシテハ、
ニ 其ノ如ク一ニシテハ、
三 其ノ如ク一ニシテハ、
四 其ノ如ク一ニシテハ、
五 其ノ如ク一ニシテハ、
六 其ノ如ク一ニシテハ、
七 其ノ如ク一ニシテハ、
八 其ノ如ク一ニシテハ、
九 其ノ如ク一ニシテハ、
十 其ノ如ク一ニシテハ、
十一 其ノ如ク一ニシテハ、
十二 其ノ如ク一ニシテハ、
十三 其ノ如ク一ニシテハ、
十四 其ノ如ク一ニシテハ、
十五 其ノ如ク一ニシテハ、
十六 其ノ如ク一ニシテハ、
十七 其ノ如ク一ニシテハ、
十八 其ノ如ク一ニシテハ、
十九 其ノ如ク一ニシテハ、
二十 其ノ如ク一ニシテハ、

そとへて入るゝ

のてふて、

路て入るゝ

てふて入るゝ

行方て入るゝ

てふて入るゝ

てふて入るゝ

てふて入るゝ

てふて入るゝ

てふて入るゝ

てふて入るゝ

てふて入るゝ

素より...
 君を始り...
 養ふ...
 後...
 高...

...
 ...
 ...
 ...
 ...

Handwritten musical notation on a staff, featuring a treble clef and a key signature of one sharp (F#). The notation consists of a single melodic line with various note values and rests. The notes are written in a cursive style, and the rests are indicated by horizontal lines. The piece concludes with a double bar line.

Handwritten musical notation on a staff, featuring a treble clef and a key signature of one sharp (F#). The notation consists of a single melodic line with various note values and rests. The notes are written in a cursive style, and the rests are indicated by horizontal lines. The piece concludes with a double bar line.

故 教 師 之 職 責 甚 重 且 宜 加 意 培 植 其 德 行 以 為 人 師 之 範
 其 德 行 之 培 植 宜 從 幼 始 幼 童 之 心 性 未 定 易 於 感 化 宜 以 禮 義 之 教 化 之
 使 其 心 性 漸 趨 於 善 而 德 行 自 成 矣 故 幼 童 之 教 育 宜 以 德 行 為 本 而 以 學 問 為 末
 德 行 之 培 植 宜 從 幼 始 幼 童 之 心 性 未 定 易 於 感 化 宜 以 禮 義 之 教 化 之
 使 其 心 性 漸 趨 於 善 而 德 行 自 成 矣 故 幼 童 之 教 育 宜 以 德 行 為 本 而 以 學 問 為 末
 德 行 之 培 植 宜 從 幼 始 幼 童 之 心 性 未 定 易 於 感 化 宜 以 禮 義 之 教 化 之
 使 其 心 性 漸 趨 於 善 而 德 行 自 成 矣 故 幼 童 之 教 育 宜 以 德 行 為 本 而 以 學 問 為 末

其 德 行 之 培 植 宜 從 幼 始 幼 童 之 心 性 未 定 易 於 感 化 宜 以 禮 義 之 教 化 之
 使 其 心 性 漸 趨 於 善 而 德 行 自 成 矣 故 幼 童 之 教 育 宜 以 德 行 為 本 而 以 學 問 為 末
 德 行 之 培 植 宜 從 幼 始 幼 童 之 心 性 未 定 易 於 感 化 宜 以 禮 義 之 教 化 之
 使 其 心 性 漸 趨 於 善 而 德 行 自 成 矣 故 幼 童 之 教 育 宜 以 德 行 為 本 而 以 學 問 為 末
 德 行 之 培 植 宜 從 幼 始 幼 童 之 心 性 未 定 易 於 感 化 宜 以 禮 義 之 教 化 之
 使 其 心 性 漸 趨 於 善 而 德 行 自 成 矣 故 幼 童 之 教 育 宜 以 德 行 為 本 而 以 學 問 為 末

一海に雲を吹く風をいふ
昔に鳥をいふ鳥をいふ
蝶鳥の舞をいふ蝶鳥を
花をいふ花をいふ花を

鳥の歌

一海に雲を吹く風をいふ
昔に鳥をいふ鳥をいふ
蝶鳥の舞をいふ蝶鳥を
花をいふ花をいふ花を

我々此の如く
 人知れぬ所に
 身を隠し居る
 事有らば
 其の功徳
 無量なり
 故に我々も
 此の如く
 身を隠し居
 る事有らば
 其の功徳
 無量なり
 故に我々も
 此の如く
 身を隠し居
 る事有らば
 其の功徳
 無量なり

我々此の如く
 人知れぬ所に
 身を隠し居る
 事有らば
 其の功徳
 無量なり
 故に我々も
 此の如く
 身を隠し居
 る事有らば
 其の功徳
 無量なり
 故に我々も
 此の如く
 身を隠し居
 る事有らば
 其の功徳
 無量なり

中書
中書

中書
中書

中書
中書

中書
中書

中書
中書

中書
中書

中書
中書

中書
中書

中書
中書

中書
中書

中書
中書

中書
中書

Handwritten text in a cursive script, likely a page from a manuscript. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines. Some characters are written in a larger, bolder style, possibly indicating emphasis or specific markers. There are some small annotations or corrections above certain characters.

Handwritten text in a cursive script, likely a page from a manuscript. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines. The script is consistent with the one on the adjacent page, showing a continuous flow of writing.

此種の如きものは皆さうしうして

因費を以て一應に之を以てするに

は^るに^も一に^して^も不可^しざる^べし

子^ハ實^ハ在^リる^ニ由^リて^ハ其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて^ハ其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて

一^ハ其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて^ハ其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて^ハ其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて

其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて^ハ其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて^ハ其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて

。 。

其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて^ハ其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて^ハ其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて

其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて^ハ其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて^ハ其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて

其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて^ハ其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて^ハ其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて

其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて^ハ其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて^ハ其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて

其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて^ハ其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて^ハ其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて

其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて^ハ其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて^ハ其^レの^ニ依^テる^ニ由^リて

舞。冒。花。る。梅。と。桜。の。回。舞。
あ。い。づ。れ。も。ま。は。ら。の。舞。は。な。か。ら。の。き。
あ。い。づ。れ。も。ま。は。ら。の。舞。は。な。か。ら。の。き。
あ。い。づ。れ。も。ま。は。ら。の。舞。は。な。か。ら。の。き。
あ。い。づ。れ。も。ま。は。ら。の。舞。は。な。か。ら。の。き。
あ。い。づ。れ。も。ま。は。ら。の。舞。は。な。か。ら。の。き。
あ。い。づ。れ。も。ま。は。ら。の。舞。は。な。か。ら。の。き。

時。舞。の。花。の。舞。の。花。の。舞。の。花。
あ。い。づ。れ。も。ま。は。ら。の。舞。は。な。か。ら。の。き。
あ。い。づ。れ。も。ま。は。ら。の。舞。は。な。か。ら。の。き。
あ。い。づ。れ。も。ま。は。ら。の。舞。は。な。か。ら。の。き。
あ。い。づ。れ。も。ま。は。ら。の。舞。は。な。か。ら。の。き。
あ。い。づ。れ。も。ま。は。ら。の。舞。は。な。か。ら。の。き。
あ。い。づ。れ。も。ま。は。ら。の。舞。は。な。か。ら。の。き。

舞。の。花。の。舞。の。花。の。舞。の。花。

Main body of handwritten text on the left page, consisting of several lines of cursive script.

Main body of handwritten text on the right page, continuing the cursive script from the left page.

音一平細... 果... 音... 音... 音...
果... 音... 音... 音... 音...
音... 音... 音... 音... 音...
音... 音... 音... 音... 音...
音... 音... 音... 音... 音...
音... 音... 音... 音... 音...

音... 音... 音... 音... 音...
音... 音... 音... 音... 音...
音... 音... 音... 音... 音...
音... 音... 音... 音... 音...
音... 音... 音... 音... 音...

の... 禁國の...
 入... 禁國の...
 の... 禁國の...
 細... 禁國の...
 の... 禁國の...
 禁國の... 禁國の...

禁國の... 禁國の...
 禁國の... 禁國の...
 禁國の... 禁國の...
 禁國の... 禁國の...
 禁國の... 禁國の...

寄...
 船...
 海...
 波...
 浪...
 濤...
 風...
 浪...
 濤...
 風...

心...
 意...
 誠...
 信...
 實...
 德...
 性...
 情...
 義...
 理...
 智...
 勇...
 毅...
 仁...
 義...
 禮...
 智...
 信...

● 此書は、^{オキ} 昔の者なり。●

● 頼山陽の書なり。●

● 我々の家にもある。●

● も、^{オキ} 韓馬の書なり。●

● 一、^{オキ} 法書なり。●

● 一、^{オキ} 家七の書なり。●

● 此書は、^{オキ} 昔の者なり。●

● 者なり。●

● 今、^{オキ} 此書なり。●

● 一、^{オキ} 此書なり。●

● 一、^{オキ} 此書なり。●

● 一、^{オキ} 此書なり。●

● 一、^{オキ} 此書なり。●

● 一、^{オキ} 此書なり。●

一 ^レ 申 ^ル 事 ^ハ 申 ^ス 事 ^ニ 似 ^テ 申 ^ス 事 ^ト 似 ^テ 申 ^ス 事

二 ^レ 申 ^ル 事 ^ハ 申 ^ス 事 ^ニ 似 ^テ 申 ^ス 事 ^ト 似 ^テ 申 ^ス 事

三 ^レ 申 ^ル 事 ^ハ 申 ^ス 事 ^ニ 似 ^テ 申 ^ス 事 ^ト 似 ^テ 申 ^ス 事

四 ^レ 申 ^ル 事 ^ハ 申 ^ス 事 ^ニ 似 ^テ 申 ^ス 事 ^ト 似 ^テ 申 ^ス 事

五 ^レ 申 ^ル 事 ^ハ 申 ^ス 事 ^ニ 似 ^テ 申 ^ス 事 ^ト 似 ^テ 申 ^ス 事

六 ^レ 申 ^ル 事 ^ハ 申 ^ス 事 ^ニ 似 ^テ 申 ^ス 事 ^ト 似 ^テ 申 ^ス 事

申 ^ル 事 ^ハ 申 ^ス 事 ^ニ 似 ^テ 申 ^ス 事 ^ト 似 ^テ 申 ^ス 事

申 ^ル 事 ^ハ 申 ^ス 事 ^ニ 似 ^テ 申 ^ス 事 ^ト 似 ^テ 申 ^ス 事

申 ^ル 事 ^ハ 申 ^ス 事 ^ニ 似 ^テ 申 ^ス 事 ^ト 似 ^テ 申 ^ス 事

申 ^ル 事 ^ハ 申 ^ス 事 ^ニ 似 ^テ 申 ^ス 事 ^ト 似 ^テ 申 ^ス 事

申 ^ル 事 ^ハ 申 ^ス 事 ^ニ 似 ^テ 申 ^ス 事 ^ト 似 ^テ 申 ^ス 事

申 ^ル 事 ^ハ 申 ^ス 事 ^ニ 似 ^テ 申 ^ス 事 ^ト 似 ^テ 申 ^ス 事

... ..
... ..
... ..
... ..
... ..
... ..
... ..
... ..
... ..
... ..

... ..
... ..
... ..
... ..
... ..
... ..
... ..
... ..
... ..
... ..

Handwritten text in Arabic script, consisting of several lines of cursive script.

大瓶箱

Handwritten text in Chinese characters, consisting of several lines of vertical script.

Small handwritten text or signature at the bottom left of the page.

るんはくみしんしんしんしんしんしんしんしん

今。ふんしんしんしんしんしんしんしんしんしんしん

ふんしんしんしんしんしんしんしんしんしんしん

ふんしんしんしんしんしんしんしんしんしんしん

ふんしんしんしんしんしんしんしんしんしんしん

ふんしんしんしんしんしんしんしんしんしんしん

ふんしんしんしんしんしんしんしんしんしんしん

ふんしんしんしんしんしんしんしんしんしんしん

ふんしんしんしんしんしんしんしんしんしんしん

ふんしんしんしんしんしんしんしんしんしんしん

ふんしんしんしんしんしんしんしんしんしんしん

ふんしんしんしんしんしんしんしんしんしんしん

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Arabic or Persian calligraphy. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines. The characters are fluid and connected, with some variations in line thickness and spacing. The overall appearance is that of a personal or official document written in a traditional style.

Handwritten text in a cursive script, similar to the first page. This page also contains approximately 10 horizontal lines of text. The script is consistent with the first page, showing a high level of fluidity and connectivity between characters. The text appears to be a continuation of the same document or a separate entry in a similar style.

255

62

版權所有



明治四十年三月十日印刷
同 四十年三月十五日發行

東京市牛込區新小川町三丁目十番地

訂正者

觀世清廉

(電話番町三言十番)

京都市二条通越屋町角十二番戶

發行兼印刷者

檜常之助

(特電話三言九番)

(振替貯金三言五貳)

大體

六終

